



2015年4月期 2Q決算説明会

株式会社アインファーマシーズ
2014年12月4日

2Q決算概要

売上高はM&Aを含む48店舗の新規出店により前年同期比106.3%、計画に対しては処方箋単価が減少し、計画比98.8%となった。経常利益は医薬品仕入コストの上昇により前年同期比86.2%、計画に対しては技術料の確保及び業務効率化の推進により計画比116.2%となった。

(単位:百万円)	14/4期2Q 実績	15/4期2Q 計画	15/4期2Q 実績	前年同期 増減額	前年同期比 (%)	計画比 (%)
売上高	83,024	89,260	88,220	5,196	106.3	98.8
売上総利益	12,657	12,080	12,622	▲35	99.7	104.5
売上比(%)	15.2	13.5	14.3			
販売管理費	7,645	8,490	8,392	747	109.8	98.8
売上比(%)	9.2	9.5	9.5			
営業利益	5,012	3,590	4,230	▲782	84.4	117.8
売上比(%)	6.0	4.0	4.8			
経常利益	5,163	3,830	4,451	▲712	86.2	116.2
売上比(%)	6.2	4.3	5.0			
四半期純利益	2,899	1,970	2,525	▲374	87.1	128.2
	3.5	2.2	2.9			
1株当たり 四半期純利益(円)	90.94	62.13	79.64	▲11.3	87.6	128.2

▶ 単位未満切り捨て

▶ 当社は、2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っている
14/4期2Q1株当たり四半期純利益についても当該株式分割が行われたと仮定して算出

売上高は処方箋単価が計画を下回り、計画比99.2%となった。セグメント利益は医薬品仕入コストが前期を上回ったものの、後発医薬品(GE)調剤体制加算を中心とした技術料の確保、業務効率化の推進により前年同期比89.2%、計画比110.7%となった。

(単位:百万円)	14/4期2Q 実績	15/4期2Q 計画	15/4期2Q 実績	前年同期 増減額	前年同期比 (%)	計画比 (%)
売上高	73,954	79,936	79,261	5,307	107.2	99.2
売上総利益	10,025	9,157	9,822	▲203	98.0	107.3
売上比(%)	13.6	11.5	12.4			
販売管理費	3,842	4,294	4,328	486	112.6	100.8
売上比(%)	5.2	5.4	5.5			
営業利益	6,183	4,863	5,493	▲690	88.8	113.0
売上比(%)	8.4	6.1	6.9			
セグメント利益	6,400	5,160	5,710	▲690	89.2	110.7
売上比(%)	8.7	6.5	7.2			
店舗数	589	656	659	70	111.9	100.5

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている
- ▶ 処方箋枚数108.3%(前年同期比)
- ▶ 処方箋単価99.5%(前年同期比)

消費税増税前の駆け込み需要の反動減及び4店舗の閉店により、売上高は前年同期比97.5%、計画比98.0%となった。セグメント利益は粗利益率の改善により前年を上回って終了した。

(単位:百万円)	14/4期2Q 実績	15/4期2Q 計画	15/4期2Q 実績	前年同期 増減額	前年同期比 (%)	計画比 (%)
売上高	8,736	8,689	8,514	▲222	97.5	98.0
売上総利益	2,741	2,880	2,844	103	103.8	98.8
売上比(%)	31.4	33.1	33.4			
販売管理費	2,756	2,800	2,835	79	102.9	101.3
売上比(%)	31.5	32.2	33.3			
営業利益	▲15	80	8	23	-	10.0
売上比(%)	-	0.9	0.1			
セグメント利益	4	126	32	28	800.0	25.4
売上比(%)	0.05	1.5	0.4			
店舗数	58	59	55	▲3	94.8	93.2

▶ 単位未満切り捨て

▶ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている

有利子負債が14/4期末より1,212百万円減少し、ネットキャッシュは6,703百万円となった。

(単位:百万円)

14/4期末			
資産の部		負債の部	
流動資産	44,334	流動負債	50,349
現預金	18,846	短期借入金	6,535
		リース債務	566
固定資産	57,048	固定負債	8,793
投資有価証券	2,559	長期借入金	4,502
		リース債務	1,454
繰延資産	-	純資産計	42,240
資産合計	101,382	負債・純資産合計	101,382

(単位:百万円)

15/4期2Q末			
資産の部		負債の部	
流動資産	43,493	流動負債	49,305
現預金	18,549	短期借入金	6,237
		リース債務	582
固定資産	57,489	固定負債	7,389
投資有価証券	2,375	長期借入金	3,574
		リース債務	1,451
繰延資産	-	純資産計	44,287
資産合計	100,982	負債・純資産合計	100,982

ネットキャッシュ 5,787

自己資本比率(%) 41.5

ネットキャッシュ 6,703

自己資本比率(%) 43.7

▶ 単位未満切り捨て

▶ ネットキャッシュ=現金及び預金-有利子負債(短期・長期借入金+リース債務)

新規出店及びM&Aにより棚卸資産、土地・建物等が増加したが、売掛金の減少により総資産は14/4期末より400百万円減少した。

(単位:百万円)	14/4期2Q末	14/4期末	15/4期2Q末	増減額
現金及び預金	20,182	18,846	18,549	▲297
売掛金	4,739	6,718	6,214	▲504
棚卸資産	9,009	9,759	10,082	323
流動資産合計	45,142	44,334	43,493	▲841
建物・構築物	8,546	9,962	10,254	292
土地	6,777	6,698	6,890	192
リース資産	1,279	1,342	1,413	71
有形固定資産合計	18,855	19,583	20,195	612
リース資産	69	47	37	▲10
無形固定資産合計	21,228	21,129	21,519	390
投資有価証券	2,579	2,559	2,375	▲184
繰延税金資産	958	1,068	790	▲278
敷金・保証金	7,085	8,081	8,487	406
投資その他の資産合計	14,759	16,334	15,773	▲561
固定資産合計	54,843	57,048	57,489	441
資産合計	99,985	101,382	100,982	▲400

新規出店、
M&Aによる
増加

▶ 単位未満切り捨て ▶ 投資総額(有形及び無形固定資産+敷金・保証金)は2,015百万円

▶ 増減額: 14/4期末・15/4期2Q末比較

短期及び長期借入金の返済を進めたことにより、負債合計は14/4期末より2,448百万円減少した。

(単位:百万円)	14/4期2Q末	14/4期末	15/4期2Q末	増減額
買掛金	28,514	28,002	29,466	1,464
短期借入金	7,088	6,535	6,237	▲298
リース債務	513	566	582	16
流動負債合計	49,516	50,349	49,305	▲1,044
長期借入金	6,318	4,502	3,574	▲928
リース債務	1,253	1,454	1,451	▲3
固定負債合計	10,188	8,793	7,389	▲1,404
負債合計	59,704	59,142	56,694	▲2,448
資本金	8,682	8,682	8,682	-
資本剰余金	7,872	7,872	7,872	-
利益剰余金	23,647	26,007	27,967	1,960
株主資本合計	40,197	42,146	44,104	1,958
純資産合計	40,281	42,240	44,287	2,047
負債純資産合計	99,985	101,382	100,982	▲400

借入金返済

▶ 単位未満切り捨て

▶ 増減額: 14/4期末・15/4期2Q末比較

(単位:百万円)	14/4期2Q	15/4期2Q	増減額
営業キャッシュフロー	9,324	4,822	▲4,502
税金等調整前四半期純利益	5,318	4,197	▲1,121
減価償却費	1,080	1,198	118
のれん償却額	990	1,044	54
売上債権増減額(▲は増加)	2,840	959	▲1,881
棚卸資産増減額(▲は増加)	▲813	▲73	740
未収入金増減額(▲は増加)	▲986	▲41	945
投資キャッシュフロー	▲4,215	▲1,907	2,308
有形・無形固定資産取得による支出	▲2,204	▲1,278	926
子会社株式取得による支出	▲1,703	▲1,264	439
財務キャッシュフロー	▲3,375	▲3,170	205
現金及び現金同等物増減額(▲は減少)	1,733	▲256	▲1,989
現金及び現金同等物期末残高	20,172	18,479	▲1,693

▶ 単位未満切り捨て

	14/4期2Q	14/4期	15/4期2Q	増減
自己資本比率(%)	40.2	41.5	43.7	3.5
時価ベースの自己資本比率(%)	67.9	70.3	94.1	26.2
株価収益率(倍)PER	-	13.62	-	-
1株当たり当期純利益(円)EPS	90.94	165.04	79.64	▲11.3
株価純資産倍率(倍)PBR	1.69	1.70	2.16	0.47
1株当たり純資産(円)BPS	1,262.18	1,328.43	1,392.86	130.68
総資産利益率(%)ROA	-	5.3	-	-
株主資本利益率(%)ROE	-	13.1	-	-
EBITDA(百万円)	-	14,405	-	-
EV/EBITDA倍率(倍)	-	4.49	-	-
ネットD/Eレシオ(倍)	▲0.12	▲0.14	▲0.15	▲0.03
ネットキャッシュ(百万円)	5,008	5,787	6,703	1,695
株主価値(百万円)	-	70,407	-	-
時価総額(百万円)	67,921	71,264	95,059	27,138

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減: 前年同期比較

▶ ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金及び預金)÷株主資本

▶ 株主価値=EV-ネット有利子負債

▶ 時価総額: 自己株式を除く

▶ 時価総額算出株価: 14/4期2Q末4,260円(13/10月末)・14/4期末4,495円(14/4月末)・15/4期2Q末2,998円(14/10月末)

▶ ネットキャッシュ=現金及び預金-有利子負債(長短借入金+リース債務)

▶ 当社は、2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っている

14/4期2Q、14/4期の1株当たり四半期純利益、1株当たり純資産についても当該株式分割が行われたと仮定して算出

15/4期売上高は、新規出店数の増加に加え、M&Aの積極活用により、前年同期比111.6%を見込む。また、在宅医療やGE推進、業務の効率化を図ることにより、経常利益は前年同期比101.1%を見込む。

(単位:百万円)	13/4期 実績	14/4期 実績	15/4期 計画	増減額	前年同期比 (%)
売上高	154,560	170,225	190,000	19,775	111.6
売上総利益	24,442	25,748	27,870	2,122	108.2
売上比(%)	15.8	15.1	14.7		
販売管理費	14,740	15,635	17,610	1,975	112.6
売上比(%)	9.5	9.2	9.3		
営業利益	9,701	10,113	10,260	147	101.5
売上比(%)	6.3	5.9	5.4		
経常利益	10,292	10,587	10,700	113	101.1
売上比(%)	6.7	6.2	5.6		
当期純利益	5,075	5,259	5,500	241	104.6
売上比(%)	3.3	3.1	2.9		
1株当たり 当期純利益(円)	159.19	165.04	173.46	8.42	105.1
年間配当金(円)	30.00	30.00	30.00	0.00	100.0

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減:14/4期・15/4期比較 ▶ 前年同期比:14/4期・15/4期比較

▶ 当社は、2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、14/4期以前の1株当たり当期純利益及び年間配当金についても当該株式分割が行われたと仮定して算出

経営の展望

 2Q実績検証

 出店状況

 調剤報酬改定

処方箋枚数は計画通りとなったが、処方箋単価が未達となり、売上高は計画比98.8%となった。営業利益は技術料の確保と業務効率化により、計画比117.8%となった。

(単位:百万円)	14/4期2Q 実績	15/4期2Q 計画	15/4期 2Q実績	計画差	計画比 (%)
売上高	83,024	89,260	88,220	▲1,040	98.8
売上総利益 売上比(%)	12,657 15.2	12,080 13.5	12,622 14.3	542	104.5
販売管理費 売上比(%)	7,645 9.2	8,490 9.5	8,392 9.5	▲98	98.8
営業利益 売上比(%)	5,012 6.0	3,590 4.0	4,230 4.8	640	117.8
経常利益 売上比(%)	5,163 6.2	3,830 4.3	4,451 5.0	621	116.2
当期利益 売上比(%)	2,899 3.5	1,970 2.2	2,525 2.9	555	128.2

▶ 単位未満切り捨て

検証内容		
売上高	15/4期2Q実績	計画比(%)
既存店 (542店)	70,668	99.4
調剤 前期出店 (62店)	5,806	95.2
当期出店 (48店)	1,395	92.3
物販 (55店)	8,514	98.0
営業利益		
(医薬)		
技術料の確保と業務効率化により売上総利益率+0.9%改善。売上高未達をカバーし、営業利益計画差+630百万円。		
(物販)		
商品政策の見直しにより粗利率が改善し、売上総利益率は計画差+0.3%となったが売上高未達、販管費増加により営業利益計画差▲72百万円。		

15/4期2Q末では、M&Aが計画を上回り、新規出店は48店舗となった。通期では126店舗の出店を達成する。

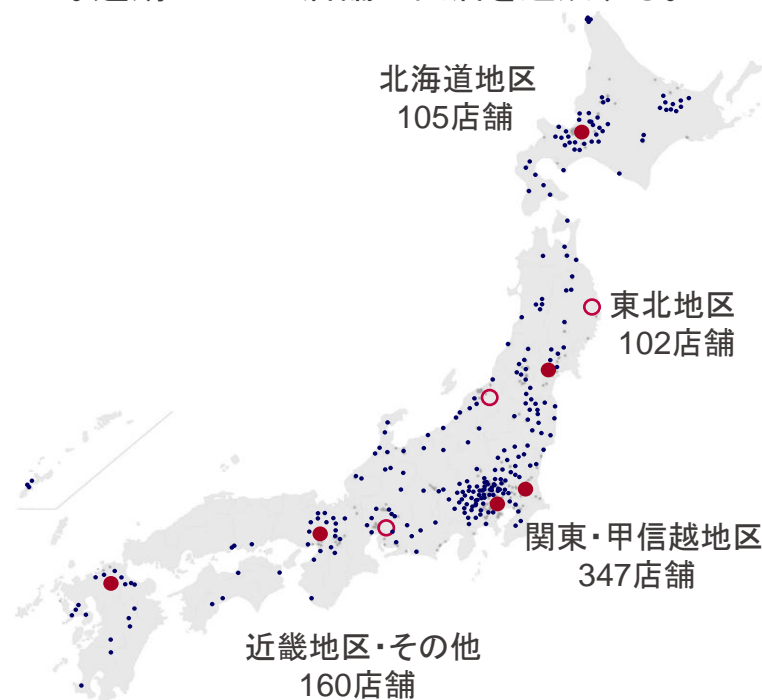
■ 総店舗数

714店舗(医薬659店舗、物販55店舗)

■ 医薬・物販出店計画

		15/4期2Q		12月	通期
		計画	実績	実績	計画
医薬	門前	18	13	22	56
	モール	2	2	2	6
	M&A	20	33	52	58
物販		0	0	1	6
合計		40	48	77	126

15/4期末店舗数
789店舗見込



15/4期2Q末

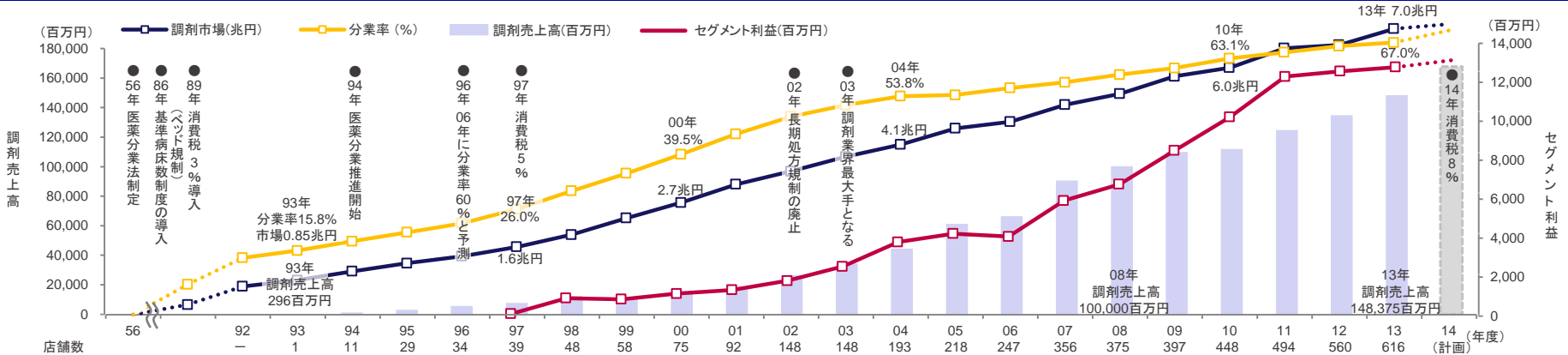
- ▶ 総店舗数にはFC2店舗を含む
- ▶ 確保物件数77件

■ 医薬出退店推移

	06/4期	07/4期	08/4期	09/4期	10/4期	11/4期	12/4期	13/4期	14/4期	15/4期見込
オーガニック	16	14	23	24	21	18	27	38	36	62
M&A	17	18	91	3	3	35	28	38	26	58
EV/EBITDA倍率	5.30	7.54	4.82	2.21	3.45	5.60	5.51	5.09	3.94	4.66
閉店	8	3	5	8	2	5	9	10	6	7
店舗数	218	247	356	375	397	448	494	560	616	729

- ▶ EV/EBITDA倍率=EV(M&A:買取価格)/EBITDA(営業利益+減価償却費)
- ▶ 医薬店舗数は11/4期より休店を含む

調剤報酬改定の推移



年度	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
調剤報酬改定率(%)	+1.9	+2.0	+0.1	+1.3	+1.15	+0.7	+0.8	▲1.3	±0	▲0.6	+0.17	+0.52	+0.46	+0.22 ※2									
薬価改定率(%) (薬価ベース)	▲8.1	▲6.6	—	▲6.8	▲3.0 ※1	▲9.7	▲7.0	▲6.3	▲4.2	▲6.7	▲5.2	▲5.75	▲6.0	▲2.65 ※3									

調剤基本料

調剤基本料	72年 新設: 8点	90年 31点	94年(2区分) 40点: 5,000回以下 33点: 5,000回超	96年(4区分) 97年 45 → 46 → 49点: :4,000回以下かつ集中度70%以下 40 → 41 → 44点: :4,000回超かつ70%以下 35 → 36 → 39点: :4,000回以下かつ70%超 20 → 20 → 21点: :4,000回超かつ70%超	98年	04年(3区分) 49点 39点 21点	06年(2区分) 42 → 40 → 19 → 18 →	08年	10年 40点 :4,000回以下または70%以下 24点 :4,000回超かつ70%超	14年(未妥縮減算) 41点(31点): 下記以外 25点(19点): 4,000回超かつ70%超 2,500回超かつ90%超	
基準調剤加算	90年 新設: 9点 在庫500品目 集中度90%以下	92年 12点	94年 14点	96年(要件追加) 20点 集中度70%以下 麻薬小売業者免許 時間外対応(複数薬局可)	98年 600回超の場合70%以下	02年(2区分) 10点: 在庫500品目 30点: 在庫700品目 研修の実施	12年(在庫増加) 10点: 700品目 30点: 1,000品目 開局時間	14年 12点: 24時間輪番対応、在宅対応 36点: 24時間自局対応、在宅実績			
GE調剤体制加算							06年 処方箋様式変更 GE推進開始	08年(調剤率) 4点: 30%	10年(数量ベース) 6点: 20% 13点: 25% 17点: 30%	12年 5点: 22% 15点: 30% 19点: 35%	14年(新基準) 18点: 55% 22点: 65%

薬学管理料

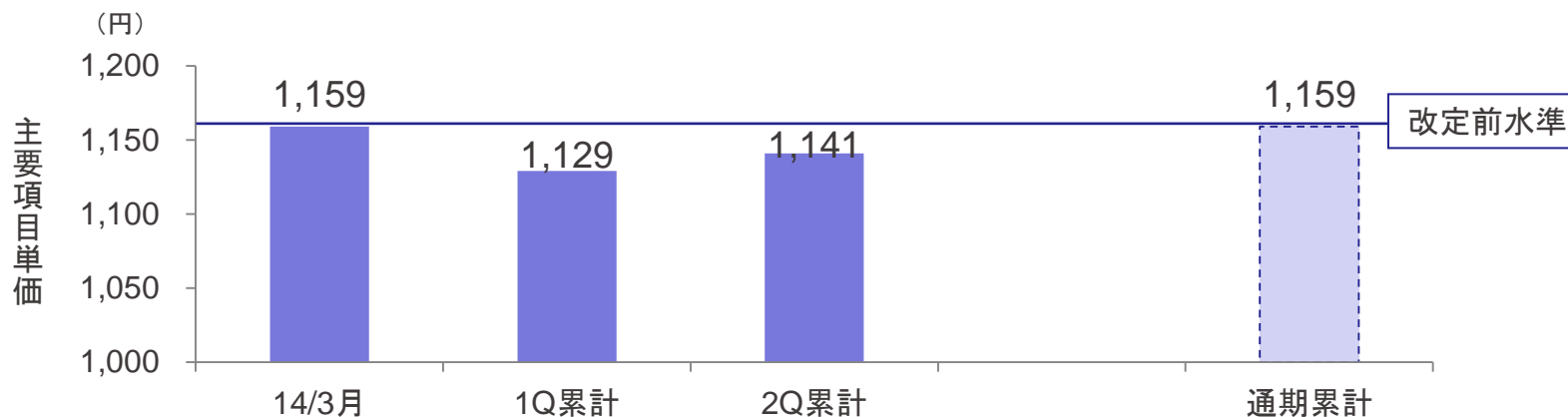
薬剤服用歴管理指導料(薬歴)	86年 新設: 5点	90年 11点	92年 15点	94年 21点	96年 30点	97年 32点	00年 22点	02年 17点	06年 22点	08年(2区分) 30点 35点: 後期高齢者	10年(1区分) 30点	12年 41点	14年 41点 34点: 手帳交付なし		
在宅患者訪問薬剤管理指導料(在宅)				94年 新設: 550点 (月1回まで)	96年 550点 (月2回まで)				02年 月1回まで500点 2回目以降4回まで300点				08年 350点: 同一建物居住者 500点: 上記以外 (月4回まで)	12年 (要件追加) 原則16km以内	14年 300点 650点 (薬剤師1人1日5回)

薬剤情報提供料(お薬手帳)	00年 15点: 手帳交付 10点: 薬情の提供(月1回)	04年 17点 10点	06年 15点 薬情提供は 薬歴に統合	08年(2区分) 15点: 後期高齢者除く	10年(1区分) 15点 (後期高齢者も含む)	12年 薬歴に統合
特別指導加算	00年 20点	02年 30点	04年 28点	06年 22点	08年 薬歴と統合	10年 4点
特定薬剤管理指導加算						

- ▶ 調剤基本料の回数は月間平均受付回数 ▶ 改定点数は日本薬剤師会資料より抜粋
- ▶ 08年度以前は営業利益 ▶ 消費税対応分含む(※1:+1.4%、※2:+0.18%、※3:+2.99%)

2014年4月の調剤報酬改定では在宅医療への参画やGEへの変更等を推進することで、主な改定項目の技術料単価は回復しつつあり、通期累計でマイナス影響を吸収できる。

■ 技術料単価推移(既存店)



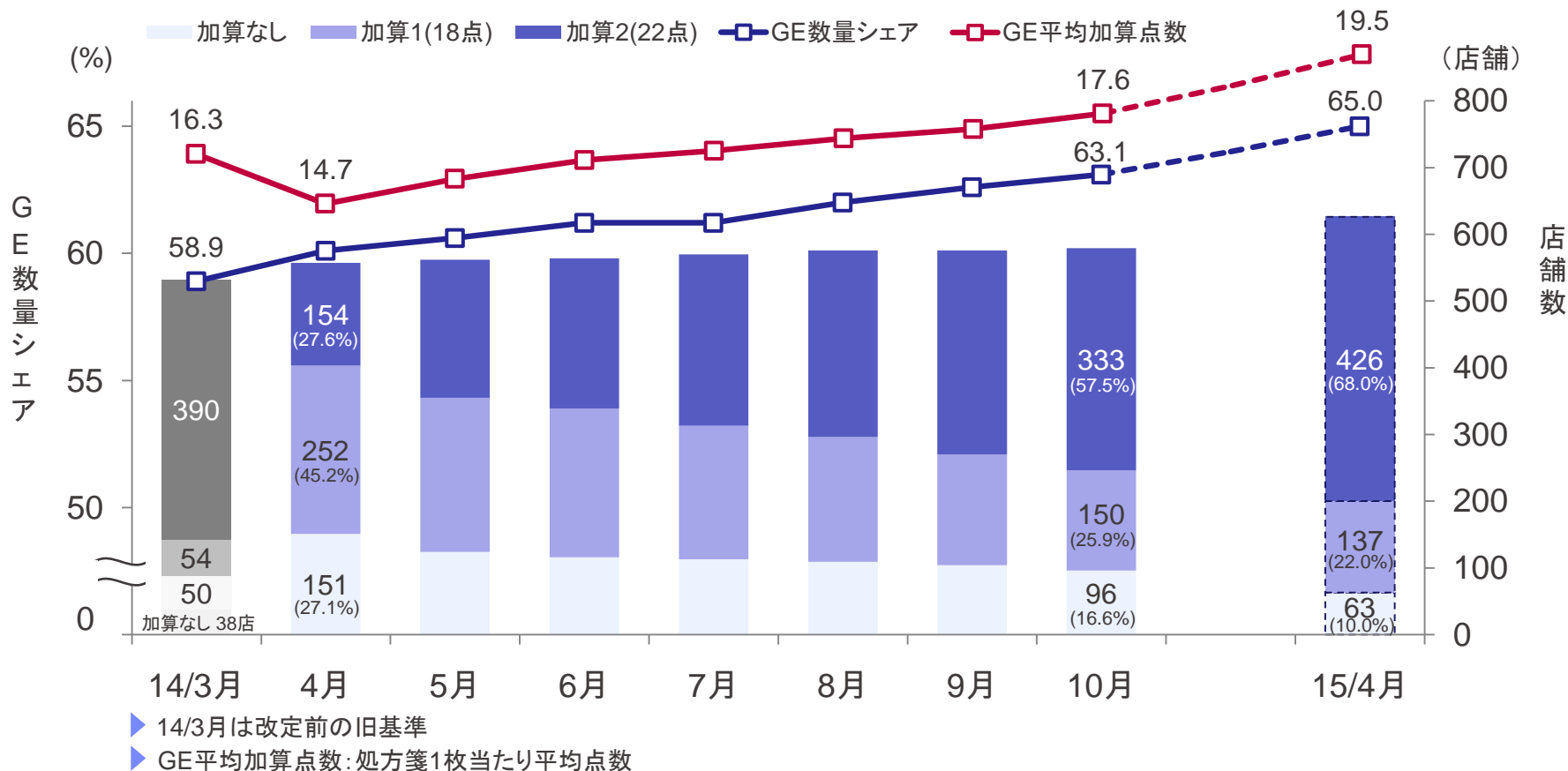
(単位:円)		改定前		実績		影響額		実績		影響額		施策後		影響額	
24時間・在宅対応等	調剤基本料	385	374	▲11	374	▲11		375	▲10						
	基準調剤加算	123	103	▲20	105	▲18		108	▲15						
GE推進	GE調剤体制加算	163	156	▲7	163	±0		175	+12						
お薬手帳	薬剤服用歴管理指導料	390	382	▲8	383	▲7		384	▲6						
その他	一包化加算等	99	114	+15	116	+17		117	+18						
合計		1,159	1,129	▲30	1,141	▲18		1,159	±0						

▶ 受付1件当たり単価

▶ グループ主要4社既存店(497店舗)

厚生労働省が掲げた「2018年3月末までにGE数量シェアを60%」という目標に対し、当社は10月末時点で63.1%、加算点数は17.6点となっている。今後もGE変更を推進し、2015年4月末には65.0%、19.5点を達成する。

■ GE進捗状況



15/4期2Qは、新規出店により売上高は前期を上回ったものの、経常利益は調剤報酬改定、消費税増税の影響により前期を下回った。通期では技術料確保、業務の効率化により計画を達成する。

■ 出店攻勢

2Q実績は計画を上回り進捗している。特にM&Aは計画20店舗に対し実績33店舗となっており、通期計画126店舗は達成できる。

■ 調剤報酬改定への対応

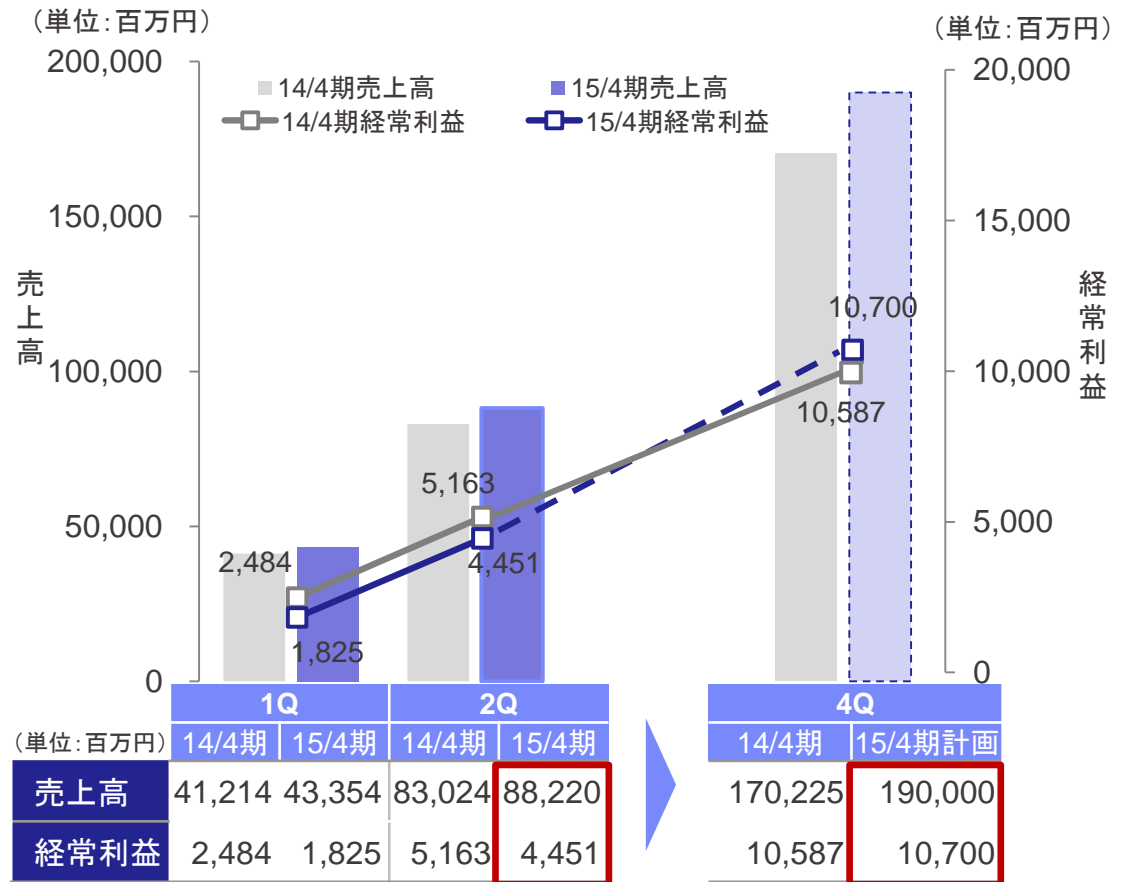
基準調剤加算、GE加算、薬歴管理料算定に対する施策を実施し、改定の影響を吸収する。

■ 考える薬局PJによる店舗活性化

待ち時間の短縮や在庫削減等、業務の効率化を図っている。更に処理枚数を増加することで人員の適正配置を行い、店舗の収益力を高める。

新規出店による規模拡大、既存店舗の収益力向上により計画を達成する。

■ 15/4期業績推移計画



本件に係る照会先

**株式会社アインファーマシーズ
経営企画室
TEL011-814-0010
FAX011-814-5550
<http://www.ainj.co.jp/>**

事前に株式会社アインファーマシーズの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。